

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより

からうら

No. 33

2005.10.30発行

一般会計補正予算
2,438万円を可決

人権対策負担金
18年度は予算計上しない

② 中越地震の復興状況を視察 — ④
アスベスト学校は安全 — ⑤
③ 8議員町の考えをたどす — ⑥
晩酌は欠かさず一合 — ⑭



にんじん大好き うさぎさん

8万円を可決

44億4,324万円に

9月定例会

人権対策特別会計負担金 賛成多数で可決

補正の主なもの

総務費	124万円	人権対策特別会計負担金
衛生費	130万円	不燃物処理場のベルトコンベア修理
農林水産業費	1,317万円	立川・相生線、波羅尾・岩屋線
教育費	236万円	横小体育館耐震設計委託料



▶耐震工事が必要な横小体育館

九月定例会は、十三日から二十九日までの十七日間開かれ、三月議会で予備費とする修正案を可決していた県町村会人権対策特別会計負担金を質疑・討論のあと、賛成多数で可決。各会計の補正予算、林道管理条例、議員提案の意見書などを全会一致で可決しました。また、平成十六年度各会計の決算認定を総務産建常任委員会に付託しました。

一般質問は八議員が登壇、町の姿勢をただしました。

議員提出議案

分権時代の新しい
地方議会制度の構築を
求める意見書

内容 議会の機能強化や組織運営の弾力化、議会と長の関係の見直しなどを求めた。

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、衆参両院議長



長期計画の立川・相生線

一般会計補正

2,43

予算総額

町村会人権対策特別会計負担金

町長答弁

「十八年度予算に計上しない」

◆質疑

問 三月議会で修正した負担金を再度計上するのはどうしてか。

答 町長 私が県町村会で将来的には撤廃も含めた減額を申し入れてきた。毎年減額されていく経過もあるので再提案した。十八年度予算には計上しないくらいの決意で臨むので、可決願いたい。

問 決意という表現ではあいまいなので、はっきりした答弁を。

答 町長 十八年度予算には負担金を計上しない。

◆討論

反対 井出議員 十八年度予算に計上しないと、言っても一月には町長選挙もある。三月から財政の厳しさは、何ら変わっていない。否決するのが当然である。

賛成 川端議員 町長選挙があっても行政は継続性がある。町長が十八年度には予算計上しないとの確固たる姿勢を示した以上賛成する。

◆採決の結果

賛成五人、反対三人、欠席三人で可決しました。

第2回 臨時会

防災無線整備

一億四千三百七十一万円で

沖電気が落札

八月二十九日に開き、衆議院議員選挙費の専決処分承認、勝浦町土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例、防災無線の工事請負契約の締結についてを全会一致で可決しました。

平成16年度 決算 一般会計

歳入 37億575万8千円

歳出 34億956万5千円

認定を総務建設常任委員会に付託しました。

陳情書の取扱い

星谷猪畜谷土砂崩壊災害対策工事についての陳情書は、総務産建常任委員会に付託し継続審査となりました。

固定資産評価審査委員会委員

武田博之氏（与川内）の選任に

同意しました。

総務 産建

徳島滞納整理機構 に加入

九月五日に委員会を開き、十七年度一般会計補正予算、勝浦町林道管理条例、星谷猪畜谷土砂崩壊災害対策工事の陳情書と、固定資産評価審査委員会委員の選任同意などについて説明があり審議しました。

税務課長から 税の徴収実績が年々低下しているので、全市町村が構成団体となり、滞納整理を専門に処理するため「徳島滞納整理機構」が十八年四月に発足すると説明がありました。

問 機構に加入して成果はあると思うか。また、職員は派遣は。

答 税務課長 十八年度の負担金は八十三万四千円である。五年間で百万円以上の滞納者十一人の徴収を依頼する。職員は三年間徳島市が、その後二年間は吉野川市から派遣される。

参事兼総務課長から 県町村会権対策特別会計負担金の再提案について説明がありました。

問 反対の修正案を可決してから半年しか経っていない。全議員の同意が得られるよう努力すべきだ。

答 参事兼総務課長 県では十九年度に打ち切りと言う意見もある。今後、勝浦町の意見も十分申し入れたいので同意願いたい。

この問題は、全員協議会に回すよう申し入れました。

また、レスキュー備品の充電式油圧救助機マルチカッターを購入し、救急隊が保持すると説明がありました。

委員会として 九月議会に提案することを了承しました。



▲マルチカッターを購入

視察報告

中越大地震

傷跡今も生々しく

昨年十月の大地震は新潟県小谷市で震度七を観測し、死者十三人、重軽傷者八百人、住宅被害一万棟の大災害となりました。半年間雪にとざされるため今も無惨な姿を残し、復旧は進んでいません。

勝浦町も震度六弱の地震が想定されていますが、住居の耐震化や自主防災組織の充実など防災対策が急がれます。



景観条例で美しく 活力ある村づくり



群馬県新治村(にいじ)は昔、養蚕を中心とした農業の村でしたが、若者が都会へ流出し、村の活力が失われていました。村を立て直すため、二十年前に農村公園構想計画を策定しました。景観条例を作り美しい村を守り、観光客と村民が直接ふれ合える伝統の手工芸や、地場産の材料を使用した食品作りを体験できる「たくみの里」を完成させました。村には温泉もあり、農業と観光を連携させた活力ある村づくりを展開しています。一朝一夕には行かないと思いますが、本町でも地道で持続性のある構想を立てて行く必要があると感じました。

の活動

文教厚生

吹付けアスベスト 学校は安全

九月九日に委員会を開き、十七年度一般会計、特別会計補正予算の説明があり、審議しました。
また、病院事務局長より、勝浦病院の運営についての報告を受けました。

住民課長から 水道管破裂の補修費百十九万円、不燃物処理場のベルトコンベア修繕費百三十万円の補正予算と、台風十四号による町

営住宅等の被害状況の説明がありました。

問 この水道管が破裂したのか。
答 住民課長 棚久水道で四カ所あり、老朽化が原因である。

教育委員会事務局長から 横小体育館の耐震補強設計委託料二百三十六万円、国民文化祭実行委員会負担金六万円などの補正予算について説明がありました。

問 横小体育館の耐震補強にどれ位かかるのか。
答 教育委員会事務局長 二百四十万円位になる。

問 横小校舎については二次診断が必要とされているが。
答 助役 体育館が住民の避難施設となっているので、校舎より優先して取り組んでいる。

アスベストの使用状況について説明があり、町内の教育施設には吹付けアスベストは使用されていないとの報告をうけました。

その他 国保会計の一億七千四百万円、福祉課関係の八百十八万九千円の補正予算も審議しました。

委員会として 九月議会に提案することを了承しました。

▶ 不燃物処理場のベルトコンベアを修繕



委員会

視察報告

学校給食の地産地消 伝統料理や山菜料理も

勝浦町も学校給食の地産地消に取り組んでいるため、先進地である京都府美山町で視察研修を行いました。面積が本町の約五倍と広いことから小学校が五校あり、中学校を合わせた総生徒数は約四百人です。地元産の米や野菜の他に牛乳、卵、鶏肉、加工食品なども給食に使用しています。

食べ残しゼロとの説明を受け、中学生と一緒に試食をしましたが、味は勝浦町の給食がおいしいと感じました。

地元の伝統料理や山菜についての教育を行っている、一部は給食にも取り入れているとのことです。本町も取り組んでも良いのではないのでしょうか。

国民文化祭 集客に努力が必要では

平成十九年に徳島県で開催される国民文化祭で勝浦町は人形浄瑠璃や、ピグひな祭りを行う計画をしています。そのため、今年の開催県になっている福井県へ運営の状況や問題点を探るため、視察研修を行いました。

徳島県からも参加して傾城阿波の鳴門「順礼歌の段」を熱演していました。が、観客は三十人程で寂しい限りでした。

本町で行う時は、このような事のないよう集客に努力する必要性を感じました。



自民党大勝の影響は

進む構造改革に対応できる町に

(町長)

中西晴美 議員



革を強く進めて行くと思うので、それに対応できるように勝浦町の財政運営をしなければならぬ。県下の他市町村に先がけて、行財政改革をしてきたのがよかったと思うが、なお引き締めてやって行きたい。

問 衆議院選挙で三分の二をこえる自民党の大勝が、過疎町村に与える影響は。

答 町長 自民党の圧勝は小泉総理の改革を国民が支持し、分かりよい点が特に若者の共感を得たと思う。

三、四年前までは地方交付税は大幅減少であったが、この二、三年は横ばいであり、十八年度も同様。今までのような大幅減はないと思ってる。小泉内閣のうちは構造改

うな財政運営が町民の幸せにつながると思うか。

答 町長 経済界も町も、また、家庭も財政運営が最も重要であると思う。調子の良いときは引締め、危機に対応できるようにしておくべきだ。中内社長は拡大しすぎ経済の変化に対応できなかった。

町村も常に改革を忘れず、引き締めて行財政運営に当たらるべきだと思う。

徳島2区 山口氏当選

1区 仙谷氏 3区 後藤田氏

05衆院選

七条・岡本氏は比例復活



問 ポスト郵政の重要課題は予算編成であると思う。三位一体改革の中で焦点は義務教育費の国から市町村への移譲である。二番目は医療費の抑制、総額規制の問題、三番目は公務員の給与と定数の見直しである。このことにつき所見をお伺いしたい。

答 町長 勝浦町は行財政改革を積極的に行ってきたので公務員の給与、定員の見直しについては、二十年までに十五%減の方針を今年達成できた。国は年間三十兆円の医療費があるのでその抑制が緊急課題となっており、公立病院の経営は非常に難しい局面にきている。

答 教育長 義務教育費は、勝浦町のようないくつかの町村では税源移譲より費用の方が多いといわれているので、現状のままが良いと思う。

問 平成十六年度の決算の結果、一般会計で約三億円、国保会計で三億二千万円、合わせて六億円の黒字であった。また、公債費比率も十六年度がピークで少しづつよくなる傾向から、十八年度の予算編成はある程度しやすくなるのではないかと思うが。

答 町長 一般会計の約三億の黒字は財調基金の取崩しがあったためである。また、各会計も黒字であったが、国の財政改革、構造改革の方向や、交付税の今後のあり方を考えればより引き締めて行財政改革を行きたい。しかし、勝浦町の将来にとってぜひ必要な事業は積極的に取り組んで行きたい。

衆議院選挙で三分の二をこえる自民党の大勝が、過疎町村に与える影響は。

町長 自民党の圧勝は小泉総理の改革を国民が支持し、分かりよい点が特に若者の共感を得たと思う。

三、四年前までは地方交付税は大幅減少であったが、この二、三年は横ばいであり、十八年度も同様。今までのような大幅減はないと思ってる。小泉内閣のうちは構造改

一般質問

県単急傾斜事業

特別枠を要望しては

早急に要望する（町長）

アスベスト被害
把握できて
いるのか

十分できていない
（戸川参事）

井出美智子 議員



答 障害者やお年寄り、弱者に優しい町であるために、補助金の特別枠を設けるよう県に要望してはどうか。

問 町長 議会が終わる次策、県に要望したい。

問 アスベストの使用と被害を明らかにすることは、新しい被害の発生を食いとめるための課題である。使用実態、住民の被害状況、労災認定患者数等は把握できているのか。

答 山平住民課長 町内の公営住宅は既に調査を終了しているが、個人住宅については町としての方針が決まっておらず、住民からの問い合わせがあれば県の担当に取り次いでいる。

答 戸川参事兼総務課長 福祉センターのエレベーター機械室にアスベストらしき物が吹き付けられているので検査に回すが、それ以外の公共施設は吹き付けアスベストはない。労災認定は実態把握が十分できていないので、関係各課で協議し対応して行きたい。

問 来年度から、県の急傾斜地崩壊対策事業の補助率が三分の二から二分の一になるが、本町への影響は。

答 島建設課長 今度の改正により受益者負担が十五%増となり、やりたくても負担金が出せない人も出てくると思う。

また、災害に対しての不安も解消できないと思う。



補助率が下がる急傾斜地事業

問 国や県だけに任せず町独自に住民の声を聞き、徹底した調査を行うべきだ。特に勝浦町は建設労働者が多く健康被害が心配される。緊急課題として健康、生活相談を充実させてはどうか。

答 山平住民課長 国や県の動向を見ながら、県の環境条例とも照らし合わせ、住民の安心、安全のために取り組んで行きたい。

介護保険 町民への サービス維持を

問 十月から介護保険が改悪され、施設利用者の負担が大幅に増える。また、地域支援事業の予算削減で予防に支障をきたすように思う。サービスの後退が心配されるが、どのように対応するの。

答 光井福祉課長 現在実施している介護予防、地域支え合い事業を精査して効果のある事業を煮詰め、必要なものについては町単独でも実施できるよう努力したい。

答 町長 財源の許す範囲で優先順位をつけ最大限の努力をして行く。

問 耐震や、バリアフリー工事は悪徳業者からお年寄りがねらわれる原因となっている。だまされることがないように、町内の設計業者や工務店などと連携し、気軽に相談できる窓口を役場内に設置してはどうか。

答 町長 悪徳業者対策は担当課において対応しているが、広報等でも周知徹底して相談体制を充実させて行きたい。



バリアフリー工事は良心的な業者

原油高

ハウス農家に支援を

今は考えていない（町長）

川端雅夫議員



問 原油の高騰はハウス農家にとって重大な危機だ。過去のオイルショックの時は今と比べ収益も多かったため、乗り切ることができたが、現状では一リットル六十円を超える採算割れになる。町単独農業振興補助金の一部をハウス農家に助成することでハウス農家が生き返ると思うが、

答 町長 ハウス農家が大変厳しいことは十分理解できるが、町財政も大変厳しく単独での支援は今の所考えていない。

**CATV事業
町独自の助成は**

問 現在、上勝町と共同でCATV事業を進めているが、六月議会の答弁では、生活保護世帯に対して加入金の負担軽減は「上勝町との連携であるので今後、両町でよく相談して決めた」との事であった。どのような結果になったのか。

答 助役 当初、一律六万五千円の自己負担が最終的には五万二千五百円になった。神山町、佐那河内村の取り組みを参考に生活保護世帯は二分の一の負担とし、加入促進を図って行った。

問 加入金がなかなか払えない人もたくさんいると思う。一世帯当たり一百万円の町独自の助成はできないか。

答 町長 国、県からの補助金残に有利な過疎債を充当しても三分割は借金である。総合的な判断の中で今後の課題としたい。

防災対策 避難所に保健師 の派遣を

問 防災マニュアルの見直し作業は進んでいるのか。また、地震と水害に分けての避難場所の確保はできているのか。

答 戸川参事兼総務課長 今はまだでき上がっていないが、避難場所の区分について区長と相談しながら分別している所である。

問 災害時において、建設業協会にボランティアを依頼するとの答弁であったが、協議の結果は。

答 島建設課長 地元消防団ではできない土のうの準備や、丸木



避難所に保健師の派遣を

など資材の初期支援活動については、協力してくれるとのことである。

問 障害者やお年寄りの避難先での対応は。また、保健師を派遣するなどの考えは。

答 光井福祉課長 特養と連携しながら空き室を活用して行った。また、長期的な避難が続く場合は保健師を配置し、メンタルな相談体制を作って行きたい。



原油高で厳しいハウス農家

町道家台・中山線の改良は

地権者の協力を得て整備したい

(建設課長)

森 健 議員



との協議も終わったので再度、関係者と話をすれば早期に着工したい。

県道阿南・勝浦線
早期に現道通行
難所の解消を

問 県道阿南・勝浦線の町境付近で、幅員拡張の予定があると聞いているが、現況はどうなっているのか。

答 島建設課長 用地関係者の協力があり、県が測量、設計、用地交渉の順で話を進めているところである。

問 幅員が十分確保されないのではないかと、との話を聞いたが、どうなのか。

答 島建設課長 十分な幅が確保されるよう県へ要望したい。

問 県工事に対する町の負担金を予算計上しているが、年度内に執行できるのか。

答 島建設課長 用地関係者の条件等を聞き、県へも伝えているが感触は良いと思っている。

県は一千万円を予定しており、町も十五%の負担金が必要である。すべて年度内に消化できるかどうか分からないが、県には強く要望している。

問 二か所は特に幅員が狭く、歩行者や地元住民は身の危険を感じている。改良の見通しは。

答 島建設課長 県の考え方では、現道で重要かつ緊急を要する箇所については、調査検討をしたいとのことであるが、地元では沼江バイパス二期工事着工に強い要望がある。

今後、地元と県との協議を予定しているので、その内容を待ちたいと考えている。



大型車が対向できない阿南・勝浦線

問 県道阿南・勝浦線の一部が未改良である上に、沼江不動前に信号がつけられたことなどから、町道家台・中山線は県道のバイパス化となり、交通量が非常に多く早期の改良が望まれている。町も予算計上しているが未だ着工に至っていない。どうなっているのか。

答 島建設課長 側溝整備工事で百メートルを予定し、用地関係者と話を進めている。県



家台・中山線の早期改良を

沼江バイパスの推進 やめたのか

地元の意見集約が必要だ（町長）

福徳重二 一議員



問 沼江バイパス二期工事が一向に進まない。地権者との用地交渉が難航しているとの事であるが、地元の世話人によると協力的な姿勢であると聞く。町長は推進に消極的だとの声もあるが、今後、積極的に推進するつもりはあるのか。

答 町長 うわさはいろいろあると思うが、地元の意見集約が一番必要と思っている。

アスベスト 個人住宅への 対応は

問 個人の住宅にもアスベストの使用はたくさんあると思う。解体や改造の時、アスベストが飛散し周辺に影響をおよぼす恐れがあるが、どう対応するのか。

答 山平住民課長 解体時の飛散防止策として、県は予算化も考えている。制度の内容によつて町も取り組んで行かなければならないと考えている。

また、健康被害を受けた人や建築資材の相談など、住民からの問い合わせがあった場合は対応して行きたい。



吹付けアスベスト 解体時の対応は

今後、どうする 開発公社の土地

問 ナカテツに貸している公社所有地は、年間五百万円余りの地代収入があり問題はないが、棚野の横瀬橋関連の周辺対策用地は、買い入れ時より土地価格は下落している上に借入金の利息もある。

今後、この土地をどのように活用して行くのか。

答 町長 棚野の公社所有地は、県道改良の代替地の問題とも絡んでくるので地元とも協議し、十分精査する中で対応すべきと思っている。

補助金の総合的な見直しは

全体的に調整を図っている
（参事兼総務課長）

問 十二月に來年度の骨格予算が決まるが、各種団体への補助金の見直しはできているのか。

答 戸川参事兼総務課長 行財政改革の調整チームの中から回答をもらい、事務事業の評価をしている。

また、補助金の交付団体の活動状況と合わせ、全体的な調整を図っている段階である。



今後どうする 棚野の開発公社所有地

町長の出処進退

表明はいつ

十二月議会を日途に（町長）

西浜勝己議員



問

町長は来年二月四日で任期が切れる。一月には選挙を行わなければならぬ。

過去の例から言えば出処進退については九月議会には表明されているが、現時点でまだ示されていない。任期は当選した時から決まっていることで、責任ある立場として所信表明に盛り込むべきでなかったのか。また、いつの時点で表明するのか。

答

町長 所信表明で言うべきだったかなど反省もしている。体調を崩し精密検査中であり、十二月議会を日途にいろいろ検討して行きたいと思っている。

簡易水道

予算の増額が必要では

組合長会議などで検討していきたい（町長）

問

町内の簡易水道施設はその大半が老朽化しており、断水の事態も発生している。

町営化の協議もしているが、今後の事を考えると予算を増額し、住民の不安解消に努めるべきではないか。

答

町長 組合長会議等で聞き取り調査を行なっている。予算の問題についても検討して行きたい。

問

町は各組合の配管等の把握はできているのか。また、古い配管にはアスベストが使用されているが、健康に影響はないのか。

答

山平住民課長 各組合とも改良等を行なっており正確な図面はないが、できる限り把握するための作業にかかっている。

石綿管については、国も動物実験を行ない、また、世界保健機構も人体に影響はないと公表している。



老朽化している簡易水道の石綿管

台風十四号

防災マニュアルは生かされたか

問

平成十六年に作成した防災マニュアルは、台風十四号時ほどの程度生かされたか。

答

戸川参事兼総務課長 地域防災計画の中の水防第一次配備で対応した。

土砂災害等に対しては間隔を置いて見回りを行ない、二世帯に避難勧告を出し、六世帯が自主避難をした。

計上した予算

執行しないのはなぜ

問

予算の執行については過去何度となく指摘してきた。必要だから計上し、議会で十分論議を尽くして議決しているにもかかわらず、執行できないものが生じるのはどうしてか。

答

町長 補助金のある予算は執行できているが、町単独予算の場合、執行に当たって、もう少し安くならないかと私なりに考えて、つい遅れてしまっている。



▶二世帯が避難した与川内の土砂投棄現場

防災無線

事業所も無料にすべきでは

なるべく安く設置できるように
努力する
(参事兼総務課長)

溝田義昭議員



めており、事業所は自己負担でお願いしたい。受信機ができる限り安く設置できるよう努力して行きたい。

町長の 予算執行に誤り があるのでは

「少しでも安く」と私の悪い癖が (町長)

問

夏休み前に横瀬小学校のプールで児童が足にけがをして使用禁止になった。このプールは十五年度に修繕費として約二百四十万円の予算が議決されていたが、町長が業者に一部補修を依頼し、百九万円で事業を執行した。少しでも安くとの努力は分からなく

問 防災無線の戸別受信機は一般家庭は無料で、事業所などは自己負担が必要との説明があったが、住民の安心、安全のための防災無線である。住民の働く場所や人が多く集まる事業所等は、当然無料にすべきと思うが。

答

戸川参事兼総務課長 一戸に一受信機を基本に整備計画を進



夏休みに使用できなかった横小プール

もないが、それが原因で今回の事故が起きたと思われとも仕方がない。

また、病院の外壁塗装についても昨年、予算計上していたにもかかわらず執行されないままに終り、今年度も予算を議決しながら執行の見通しが立っていない。町長の姿勢に問題があるのではないか。

答

町長 横瀬小学校のプールでは児童にけがをさせて本当に申し訳なく思っている。十分調査し修繕をして、来年は使用できるようにしたい。

病院の外壁塗装については、私の悪い癖でもう少し安くできないかと係とも相談しているが、建設課、病院事務局と早急に煮詰め対応して行きたい。

自立計画は 官から民への 考え方が必要では

問

衆議院選挙は「民間に」大きな政府より小さな政府の「スローガン」の下に戦った自民党の勝利に終わった。町の自立計画策定もこのような考え方が重要だと思ふ。建設課内で建設機械を

購入して小さな仕事を職員でやって行きたいとの話を聞いたが、民間でできることは民間に任せて職員を削減することを考えるべきと思うが、そんな話をした事実があったのか。

答

島建設課長 自立計画策定の準備段階で、どう経費削減するかとの協議の中で、災害時の土砂取り除きなどの作業を直営でしたらどうかとの意見が出た。



急がれる病院の外壁塗装

AEDを導入しては

導入に向け検討する（参事兼総務課長）

松田貴志議員



設に設置し、それを貸し出しできる方法を協議して行きたい。

町独自の土捨場を設けては

問 県や町が行う工事業から発生する建設

残土は現在、どんな方法で処理されているのか。

答 島建設課長 町の工事は業者が責任を持って処分し、県は残土処理場を設けている。

問 町独自の土捨場を設けてはどうか。

答 町長 現在は業者責任ということである。町独自で整備するのは難しい。

問 突然死の原因とされる心室細動の治療に効果があるAED（自動体外式除細動器）は昨年の七月から一般人でも扱えるようになった。簡単に操作でき、持ち運びも可能なことから、県や周辺市町村でも導入されている。愛知万博においても三人の命が救われた。本町も導入してはどうか。

答 戸川参事兼総務課長 最近、多くの関心が寄せられており、町としても学校や福祉施設に設置し、それを貸し出しできる方法を協議して行きたい。



AED（自動体外式除細動器）

ゴミの焼却を民間委託しては

プラスチック類は
検討中（住民課長）

問 自立計画の策定には行政のコスト削減は欠かせない。十九年四月に松茂臨海処分場の受け入れが始まれば、プラスチック類は焼却できなくなる。現在の焼却場も老朽化し維持管理に多額の経費が必要になってくる。ゴミ焼却を民間に委託してはどうか。

答 山平住民課長 新年度に向け分別収集の見直しと、プラスチック類の焼却やりサイクルの民間委託を検討している。

大型の焼却炉を備えた民間会社も数社あり、安いところを探せばまだまだコストも抑えられる。昨年のように台風による道路崩壊で収集がストップする心配もなく、削減された財源をほかの事業に充当できる。一部でなく全面的な民間委託が必要と思うが。

問 町長 民間委託については、できる範囲内で前向きに検討するように指示してある。

答 町長 民間委託については、できる範囲内で前向きに検討するように指示してある。

小学校の統合協議会等を立ち上げては

問 行財政改革の中で、も示されており、また、少子化の流れを考えると、少子化の将来小、中学校のあるべき姿を今から議論していく必要があると思う。少しでも早い時期に協議会等を立ち上げ、多くの意見を集約し方向性を示すべきと思うが。

答 松浦教育長 横瀬、坂本の統合時には検討委員会を立ち上げ議論した。統合についてはさまざまな意見や問題点が出てくると思うので、今後、十分に検討して行きたい。



横瀬小学校



生比奈小学校



勝浦中学校

◀ 小・中学校の将来は

答 町長 少子化の時代、一石を投じる時に来ている。早い段階でアンケートをとったり、検討委員会を設置するよう前向きに取り組んで行きたい。

元気が一番

晩酌は欠かさず一合



福井時雄さん（中角）
大正2年10月1日生（92歳）

Q 嫌いではなく食事は残さず食べます。晩酌は毎日欠かさず一合、チーンして呑みます。

Q 忘れられない思い出は。
A 十二、三年前に勝浦町の代表として、ゲートボールの全国大会に出場したことです。

Q 毎日どのように過ごしていますか。
A 散歩したり天気の良い日はセニアカーでドライブしています。テレビもよく見ます。風呂が大好きで毎日四時頃に入ります。

Q 最近の楽しみは。
A 十年位前まではゲートボールが楽しみでしたが、最近の一番の楽しみはひ孫の顔を見ることです。

Q 好きな食べ物。
A 昔は食べる物がなく何でも食べました。今も好

Q 長生きの秘けつは。
A 家族に迷惑をかけないためには、健康が一番と考えてきたことが長生き

Q 新婚時代の思い出は。
A 当時は苦しい時代でしたが、二人の生活は楽しかった。
その婆さんに先立たれ早や十年になります。

Q 小さい頃の遊びは。
A バイ廻しとかメン取りでしたが、生活が苦しくあまり遊ぶ暇はありませんでした。



▲ 昭和43年頃

Q 今と昔で特に変わったと思うことは。
A 食べ物です。今は何でも幾らでもあります。

Q これから望む事は。
A 戦争を絶対にしないことです。

家族から

おじいちゃんへ

留守番をしてくれるので大助かりです。私たちを見守ってくれるおじいちゃん、これからも元気でいて下さい。

編集後記



小泉劇場と騒がれた衆院選は自民党の大勝で幕が下りました。

「意思を通す」と郵政民営化法案に反対した自民党系の議員も大半が賛成に回り、一度廃案となった法案が三カ月も経たないうちに可決されました。

意思を貫くのが正しいのか、流れに柔軟に対応するのが良いのかは判断の分かれる所ですが、双方を合わせ持つ心の広さも必要だと思えます。

しかし、自分を守るためだけに信念を曲げたのであれば、政治家失格ではないでしょうか。

いずれにせよトップやリーダーに欠かせないのは先見性であり、進む時と退く機を誤ってはならないと思えます。（義昭）

